梅津嘉一郎(三井住友海上OB)

この平成23年4月で済生会中津病院でのボランティア活動が7年目を迎えます。今思うとあっという間の6年間でした。始めたころ中津病院はボランティアを受け入れてからまだ1年でしたので人数も少なく、活動範囲もロビー案内が主でした。

ボランティア活動をして間もなく、手術を受け3週間近くの入院を経験しました。その中で病院の有難さ、また、病院の先生、看護師の方の大変さも知りました。そこから中津病院でのボランティア活動の基本を「患者」と「病院」を繋ぐことを私は基本としました。



病院に来られ方は何らかの不安を感じておられる方が多いと思います。不安を少しでも和らげ、安心して診療が受けられるように精神的な面でのお手伝いをしてきました。患者さんの中には病院に不満がある方がおられますが、ボランティアが間に入りますと不満も和らぐようです。患者さんの笑顔とお礼の言葉はボランティア冥利に尽きます。

中津病院でのボランティア活動も年数が経つにつれロビー案内が主でしたものが今では活動種類も10数項目を超えてきました。(病室への巡回図書・お茶サービス・インターネットサービス等)登録人数も40名を超えました。その中で三井ボランティアネットワーク事業団からのボランティアも7名おります。病院からも三井ボランティアネットワーク事業団に対して大きな評価をいただいております。これからの多くの方の参加が待たれます。

週1回のボランティア活動ですが生活にメリハリがつき有難く思っております。あと何年出来るかわかりませんが出来るだけ頑張っていくつもりです。